三股町の人口
7月1日現在
男 6,947人
女 7,750人
計 14,697人
世帯数 3,777戸

広報みまた

'67. 8
No. 47

発行 三股町
編集 総務課

町中央部……上空より

あすの三股町

もうすぐそこ 五年後には こうなる

私たちの三股町は、協和の町政を基調として繁栄する美しい田園都市の建設に邁進しつつ、目下着々その成果を見ております。

ここに未来の三股町を実現性の上に立って想定して私たち町民の指標としての方向づけを行い、そうして私たち自身の繁栄のために理解と協力の体制を強化することは、今後の飛躍的な町政の伸展にいよいよ拍車をかけることになろうと思われます。

それでは一応だれしもが容易に想像される最も近い将来、即ち今後の五年間に私たちの三股町は果してどんなふうに変っていくであろうか。各項目毎に考えてみましょう。

積極的な施策の遂行による効果とその影況を想定することは大いに意義あることと思います。

◎スリや手荷物にご用心

海に山に、まさにレジャーのシーズンです。楽しいはずの旅行もスリなどにあっては元も子もありません。国鉄では列車内の盗難予防に次のことを呼びかけております。

一、お金は二つか三つに分けて持ちましょう。
一、席を離れる時、荷物は必らず持って行きましょう。見知らぬ人に預けないようにして下さい。
一、ズボンの後ポケットやシャツの胸ポケットは一番とられやすいところです。
一、現金入りの上衣を車内の帽子掛にかけないようにして下さい。
一、ハンドバックの中に多額の現金を入れないようにして下さい。

人口

二万人を数える

昭和四七年には

本町は南九州の中核都市をめざす都城市に隣接して地理的地形的好条件と多年の努力のたまものとしてあまたの中小企業或いは大企業の誘致に成果を見て工業の振興著しいものがありましたが、第二次大学開校もすでに成り、内外の耳目を集めるにいたっております。

これらと併行して大市公営住宅の出現とともに、近代的な民間住宅の建設も急激な促進を見ていることは必定でしょう。

又各種の工場、大学等の設置とともに、これらの必要に応じた寄宿舎或いは厚生年金住宅等の建設も当然考えられますから、これらは人口の集中化、定着化をきたし、その結果は人口増の急カーブをたどって、五年後の昭和四七年の本町人口は悠に二万人を数えるに至るであろうことは容易に想定されます。

それとともに町民の第二、第三次産業への移行は急カーブを描て、第一次対第二、三次産業の就業構造は四対六と逆転するのは当然なりゆきでしょう。

これに比例して一人当り町民所得は県民所得をオーバーして産業経済の活潑化は目を見張るものになるであろうことは容易に想儀されます。

道路交通

県道についで早くも主要町道舗装化成る

牛之峠隧道も開通か

年々急速の度を速めつつある道路の整備は今後五ヶ年間には刮目に値いする飛躍を成し遂げていることでしょう。

即ち国道二六九号線（都城池—山之口—宮崎）は都城、宮崎間がすでに改良舗装化成り、国道一〇号線とともにその通行量の増大は驚異的なものが考えられます。

町内の中心部を縦走する動脈路線の県道都城北郷線の改良は昭和四三年度にはもはや全線完功し、その舗装化も、その後年次的に強行され、すでに完了、名実共に主要地方道としての面目を一新し、その役目を果しつつあります。

その他の県道、三股荘内財部線（山王原—新馬場—勝岡前目）、三股駅今町線（駅—桃山—宮村）も昭和四二年度に、高城山之口三股線（田上線）は昭和四三年度に舗装化が完成し、かっての砂利道の悲哀は今やいずこというところです。

これとともに、これら国県道をつなぐ主要町道一五、〇〇〇米の改良舗装化は急ピッチを続け、早くも三年後の昭和四五年度には、全線一〇〇%完成し、その後は更に部落内道路の整備に熱をあげ、町内くまなく美しい舗装道路は着々延長されつつあるだろう。

こうなると砂利道はすでに道路とは考えられず、道路予定線としか考えられない状況下にあるやも知れずといったところか。

又そのころになると、多年の懸案であった国道三二号線（都城—中郷—日南）のバイパス牛之峠線は、建設省直かつ突貫工事中の牛之峠隧道も、ようやく完功を見て、都城隧道問のバイパス国道も平坦な小鷹原を美しく一直線に伸びて、町民は待望久しかったその開通の喜びにひたっていることでしょう。そして都城日南間は直結されて、日本の食糧基地化しつつある霧島盆地と油津との往来は日々はげしさを増しつつあることでしょう。

更には九州縦貫高速自動車道においては、インターチェンジ位置決定とともにその建設のつち音も高く、これにつながる道路網の整備を誇る本町将来は、大きな躍進への夢をはらんで、そのしげきと意欲によって進境著しい農業は、かって「他産業に追いつこう」と一戸平均七ケタ（一〇〇万円）農業への悲願もすでに達し更に飛躍的な農業所得の増大を期して今や「他産業を追い抜こう」と八ケタ（一、〇〇〇万円）農業への意気がいも感じられようというところでしょう。

教育

短大は、四三年に開校

町立図書館も新設

昭和四二年、四三年の二ケ年間にわたって建設した三股中永久校舎完成は、生徒の向学心そよいよ燃えての進学率の上昇をうながしております。

これと前後して町内各小学校のプールもすべて完成又三股小体育館も新装成り続いて勝岡、宮村、梶山の各小学校体育館も落々実現しております。これで各小中学校の整備はほとんど成るというところでしょう。

この外特筆すべきことは昭和四三年に開校した私立短大は旭ヶ丘の森に映えて文教の町三股を欧歌するかのように、さんぜんと光り輝いて、地方学術センター的存在を有するものと思われます。更にはこれがシーズンともなれば、その規模とともに内容充実を世界的格、地域開発の一拠点となって、その波及効果を急速に進めつつあることでしょう。

五年後にはすべてこうなる

農業

すべて協業化へ

稲作・酪農・果樹・そ菜園芸等も

活躍するトラクター

なんとか他産業に追いつこうと強力に遂行した農業構造改善事業の成果は除々に表れて、その基幹作物は目標のみかん二〇〇町歩、乳牛一、〇〇〇頭はすでに到達、みかん生産はグループによる集団協業化へ、酪農も個人による多頭飼育から更に一歩進んだ共同畜舎による共同飼育へと転換をはじめ、いよいよ規模拡大による企業化へと向っている。

又稲作は県内のトップを切って町内全域九〇〇町歩にわたって高度集団栽培が実施され、省力化、機械化の普及はもはや驚力による農法は追放され、徹底した産米改善も功を奏して、年々生産性の向上を続けるでしょう。

この頃即ち昭和四七年頃には本町西部を横断する農免道路の完成に伴って多年の懸案であった延長約一〇〇米の今市橋もすでに竣功し、地域農民の顔は底抜けに明るく、農業近代化は、いよいよ促進されることでしょう。

はた又時期を同じくして牛之峠線の開通とともに食糧基地霧島盆地と油津港とは直結されて生鮮食糧品を満載した冷凍船の発着は定期化へと進むことは決定的でしょう。したがってそ菜園芸は急激に脚光を浴び、集団栽培による大量生産が叫ばれるようになりましょう。

工業

内陸工業地帯として南九州の拠点化に

本町は昭和三八年一〇月低開法地域指定を受けてより鋭意その誘致に力を注ぎ着々その成果を見て、いよいよ内陸工業地帯としての胎動を続けつつあります。

即ち小倉セーター工業株式会社、九新工業株式会社、松元金物工業株式会社、日通プロパン充てん工場その他三州チーゼルをはじめとする各種修理工場等近くは東郷織物工業もその生産にピッチをあげております。

そして昭和四三年には、前目繋池を通る国道、二六九号線沿いには、久保惣レース工場が設立され、当初計画にそって、年々その設備の投資拡充を続けて設立五年後の昭和四七年には、従業員一、〇〇〇人を有する大企業として、ふる操業を続けていることでしょう。

これを契機として都三線の沿線或いは植木原に、更には又牛之峠線の開通によるしげきは強烈なものがあり、地の理と広大な敷地の好条件を生かして、たくましい建設そして生産へと繁栄する工業の町三股町を象徴するかのように工場郡の一拠点を形成するであろうことが考えられます。このような成果は雇用の増大による労働力の集中、定着をきたし、かっての労働力の都市への流動は今や逆流の現象が表われることでしょう。

そして町民はいよいよ富み、財政も豊かに、より飛躍をめざして、建設のつち音は一段と高らかにひびき続けることでありましょう。

このしげきと意欲によって進境著しい農業は、かって「他産業に追いつこう」と八ケタ（一、〇〇〇万円）農業への意気がいも感じられようというところでしょう。

／に誇る姉妹校、東京玉川学園の九州全域に散在する通信教育学生のスクーリングとしても利用されて、さながら学生の町三股の観を呈することでしょう。

又中央地区には施設の完備と質量ともに誇る蔵書を有する町立図書館もお目見えして、文化センターとしての役割を果すことでしょう。

進出が目立つことでありましょう。

かくして本町区域は南九州一帯における工業地帯の

☆お手伝いを習慣づけよう☆

夏休み中のこども

一か月以上にわたる夏休み中は、とかくこどもたちの生活が下規則になりがちで、ともすると遊びくせがついたり、かえって勉強がいやになったりする例が多いものです。

夏休中のこどもたちの生活のうちで、お手伝いをどうするかは、大変大事なことでしょう。

一般的に今日では、こどもの労働力を必要とする家庭は少なくなっているようです。とかく「お手伝いはよいから勉強しなさい」という親が大半で、むしろそうした考え方が現代的風潮とさえいえましょう。

しかし夏休みにかぎらず家庭でこどもにお手伝いをさせるということは、こどもの労働力をあてにすることでなくて、それによって家庭という共同体に対する一体感、連帯感、協力意識といったものを、からだで教え感じとらせることです。そこに大きな意義があるのではないでしょうか。

三股小校舎

福　社

福祉の町三股

ほゞ完成

社会福祉の充実、之は政治の要諦であり、今後も一層の努力が傾注されることは当然なことでしょう。本町は平担地をもって都城市に隣接し更に交通の便に恵まれて公営住宅の需要は年々急増しております。これに応えるために四二年度には八〇戸が建設され、これで四八四戸（町営四四六戸、県営三八戸）を数え町村としては県下最大を誇っております更にその後も年次的な建設が続けられ五年後においては一、〇〇〇戸の声も聞かれるにいたりましょう。

又これが導火線となって民間住宅の建設も大巾に伸びて都城市近郊の環境美しいベッドタウン化へと変ほうを続けることでしょう。

保育所については現在、一〇ヶ所がほとんどの地域に設置されております。人間の人格は、そのほとんどが幼児期に形成されると言われますが、その幼児教育には特に力が注がれて、通園に不便な地域の解消のために、さしあたって四二年度は長田地区に設立され、その後更に年とともに開設されて、五年後には全国的にもまれにみる一五ヶ所を数えて、これで町内全幼児の入園が可能になりましょう。

老人福祉については老人ホームの定員増も考えられいよ〳〵楽のしいホームとして年老いた人のあこがれの場となりましょう。

又町中央部より程近い、みどり深き徳まずの丘（字鮒原）には、こん〳〵と涌き出る鉱泉を利用して、こい料理の舌つゞみも満きつできる老人のレジャーセンターも完成し、としよりのこよなきいこいの場として親しまれることでしょう。

この外清流沖水川のほとりには若人にとっては、たまらない魅力をさそうユースホステルも完功成って内外からの行楽客でにぎわうものと思われます。

更には母子健康センターのお目見えも必ず成ることでしょう。

又この頃になると町立病院も町民の要請に応えて、診療棟の鉄筋高層化も成り最新の施設と最高の技術のもとにより大きな綜合病院として発展を成しておりましょう。

観　光

桜並木 つゝじ公園

長田峡の開発の名所も

本町は西に秀麗霧島山を指呼の間になかめ、東部は山なみあおき東歓の連山にいだかれて、これに源を発する沖水川が東西に貫流して風光明びを誇り、わに塚県立公園の一角を形成しております。

この沖水川は延々八キロの間、悠久の歴史をきざむ深えん、奇観をなす峡谷美を呈しております。この景観は人々の目をうばうに充分なるものがありますが、イダ、マダラとともに各所に数万尾の放流されたアユ

開発が待たれる長田峡

マス、ウナギ、こい等が群せいして、シーズンともなれば、これらを求める人々でにぎわっております。

今後この観光資源を生かした開発とともに「全町を花でうづめよう」と積極的な美化運動は、集団花木苗育成により各家庭、各沿道へと植樹栽培されて、その美観は道行く人々の心をなごませることでしょう。

又上米公園とともに展望絶景を誇る勝岡わらびが丘（高才原）台地には数千本の桜並木も育成されて、或いは又二〇ヘクタールを有する島津紅茶園附近には、長田の名所つゝじが丘について軍神山つゝじ公園が造成されて、広大に工度然とした紅茶園とともに一体となった観光農業として脚光を浴びることでしょう。

これらとともに老人福祉センター、ユースホステル等の完成等開発の進ちょくとともに美しい環境の中に人々の心は明るく、いよいよ豊かな町へと飛躍することでしょう。

＜商工会だより＞

県が実施している中小企業に融資する製度に次の特別融資がありますので御利用下さい。詳細については商工会に問合せ下さい。

県の融資制度

項目＼制度名		中小企業協業化促進特別融資	中小工業設備合理化特別融資	中小商業設備改善特別融資	小規模事業特別融資
融資の対象		事業協同組合の共同事業又は組合員の事業の近代化，合理化資金	製造業・鉱業又は建設業を営んでいる中小企業者	商業又はサービス業を営んでいる中小企業者	従業員製造業20人商業，サービス業5人以下の中小企業者
融資の条件	使途	共同事業資金	設備資金	設備資金	運転，設備資金
	限度	1組合1,000万円以内	1企業200万円以内	1企業200万円以内	1企業50万円以内
	期間	1年以内	3年以内	3年以内	2年以内
	利率	日歩2銭1厘5毛	日歩2銭2厘	日歩2銭2厘	日歩2銭2厘
	信用保証協会の保証料	日歩4厘	日歩3厘3毛	日歩3厘3毛	日歩3厘3毛
取扱金融機関		商工中金	宮崎銀行 鹿児島銀行 都城信用金庫 他	同左	同左
申込の窓口		商工会	商工会	商工会	商工会

町議会一般質問状況

『当選後初の定例会』抱負をいだいて活発に論戦

町議会は去る六月二八日招集されました。当選後初の定例会とあって元、前、新議員とも、それぞれ大きな抱負を胸に秘めて終始熱心な討議が行われましたが、こゝに一般質問の状況からその活発な論戦をお知らせいたしましょう。

議長　全員出席である。たゞ今から本日の会議を開く。本日の議事日程は、お手許に印刷配布してあるとおりである。日程にしたがって今から一般質問に入るが、質問が非常に多いので簡明にそして答弁を求める相手の名前を明確にしてから質問に入っていただきたい。関連質問は許す。質問の順序は、先ず町長の答弁を要するものから先に行いたい。他の質問については配布した質問事項の順で行う。尚プリントされている質問の中には関連する質問もあると思うので、それも一緒に行いたい。これは議長が指名する。

農道町道の整備を

中野議員　町長に質問する本年度の町長の施政方針にも住宅、道路が特に重点施策としてうたわれている。道路といっても町道、県道、農道といろいろあるが、先ず農道について質問する。負担金の件であるが古い区画整理の個所は農道が非常にせまい。こんにちの機械化にそぐわず、どうしてもその整備が生産性の向上に必要であると農民の要望も強い。そこで農民の負担も大きい。町においてもそういう点について指導はされておるが土地改良事業として団体営でやれば五割か五割五分の補助があるが、しかし団体営にもってゆけない農道もある。これについて町長はどういう構想をもっておられるか、さきの議会において町長は道路の敷地、施設費は町が負担すると言明されたが団体営は五割ないし五割五分の補助で町は負担したい考えか。団体営でない農道の整備は土地のつぶれ地とそれに必要な資材費は町が負担するという方針に変りはないか、伺いたい。

町長　農道については最近やった畑地の場合でも状況は変っていない。本年度は畑の場合路面の整備をという方針で進みたいたゞ今中野議員が言う古い水田地帯の区画整理の農道はこんにちの機械化時代にはそぐわないということであるが、この点は御指摘のとおりで、充分検討して整備していきたいと考える。

中野議員　農道については了解した。町道について申しあげる。部落から要望しても、実施の面がなかなか遅々として進んでいない。一例をあげると山田の道路は四年前から要望しているのに未だ着工になっていない。町民が要望しているのに着工に踏みきれない点、なおこんにち失対事業によって相当簡易舗装をやるという方針であるが、これはどの程度まで実施するのか、この二点について伺いたい。

町長　町道の整備についてはなるべく幹線からという考え方で進めている。部落道の改良については今年度は約六、〇〇〇米を計画している。町道整備の路線名は土木課長に説明させる。

土木課長　部落道の改良がなかなか進まないということであるが、たゞ今町長から説明があったように今年度は部落内道路約六〇〇〇米を計画している。御指摘の山田部落の道路については測量もすんでおり時期的に刈りあげが済んでからやってほしいという要望があったので、そのような計画で進めている。尚幹線道路の舗装については四二年度失対事業において二、〇〇〇米を計画いたしており、四三年度以降については、一応交通量の調査を実施しその結果による市員を検討して計画を立案したい。

財政運営について

福元議員　現時点における町債の総額はぼう大な数字にあがっている。今後町の財政規模の中において円滑に返済できるかどうか。又今後の起債計画など、財政運営を含めた説明を願いたい。

町長　起債の限度は経常収入の二〇％となっている経常収入は年々税の自然増等により増えてくるので、現時点ではまだ余力があると考える。

育てる責任がある霧島東高校

山元議員　町は昭和三九年に霧島東高校を誘致したのであるが、入学生が年々減少しているということであるが、その原因はなにかあるか、伺いたい。

町長　なるべくよい学校にしなければならないと思う。良い学校にするためには校舎など設備を充分整える必要があると考える。努力しておりますので段々よくなってくると思う。

山元議員　校舎の近代化について相談を受けたことがあるか。尚これについて町長はどういう考えであるか。

町長　そういう相談があった。なるべくその線にそって努力してゆく考えである。

山元議員　折角誘致した学校であるからそれを育てる責任があると考える。

防犯灯維持費について

山元議員　防犯灯の現況についてお尋ねする。小暴力の排除青少年の健全育成、交通事故の防止対策等町を明るくする運動に重点策をとっておられるところであるが、昭和四一年度の本町の犯罪件数は七六件であるようである。これは防犯灯の存在が左右するものであって、現在町内には三五一灯ある。各部落においてはこれの維持費について苦慮している現状である。これについては当然通産省が負担すべきであると考えるが、しかし今解決できる問題でもなく各地区防犯組合の管内の灯数によって、助成するとか、或いは町が補助するとか、これらについてお考へを伺いたい。

義務教育費の父兄負担の軽減について

大盛議員　各種教育費、研さん及び学校における活動は父兄の生活を非常に圧迫している。義務教育費の負担は基本的には憲法第二六条で国の公費で負うべきものである。又PTAの全面的な体質改善を行い、これを父兄と学校との間に立つ協議会として児童、生徒の教育、学力、体力の向上という本来の目的に向かわしめ、これの充実をはかってゆき、PTAを学校の財源の援助機関とすることは改めるべきであると考える。この財源についてはすべて公費で支出していただきたいと考えるが、これについて町長はどう考えるか伺いたい。

町長　お説のとおりである。そのような方向に努力する。

教育理念について

大盛議員　町長は本年度の施政方針の中に教育振興人間形成について、このべておられるが、次代をになう青少年が人生の目的を認識し社会の発展に寄与し得るようにするための健全育成には根本の教育理念が大切と考える。町長はどのような教育理念をもっておられるか、伺いたい。

町長　教育理念ということは一応教育上の信念と解釈する。教育環境の整備は私共に課せられた責務である。先ず幼児教育からということで児童館の整備に努力したい。

大盛議員　教育環境の整備という点で了解。

道路の整備について

安田議員　現在町内道路は他町村に比して大変よく整備されている。しかし宮村都城間の並木線は旧熊依然として非常に悪い。その原因は、排水溝の未整備もあるが、主として骨材製造所によるひんぱんな砂利運搬が原因のようである現在整備されているところもあるが、小型の自動車も通れないようなこともよくある。骨材製造所には山のようにつまれた砂利があるがこれを県と接渉し利用して全面的な散布は出来ないものか、伺いたい。

助役　並木線の補修ということであるが、牛之峠線との関連もあり、今のところ計画線に入れることをためらっている。できますれば恒久的な都市計画路線として三間道路とだき合せた認定を受けてするならば良いのではないかということで内々検討をしている。しかしながら牛之峠線の路線との競合ということになりますと都市計画路線の認定は多少困難性があるとして未だ打出していない、という段階である。これは勿論補修ではなく、抜本的な改造である。骨材製造所の砂利の利用については県企業局の言い分は山もとから骨材製造所までの道路については県の方で現在すでにやっている。その他の線については、どうもやりかねる。町の方でやってもらいたい、協力はするが骨材製造所の砂利を散布することは出来ないということである。

安田議員　道路の新設であります、高畑から大鷲巣、寺柱を通じ第三地区公民館に至る道路は市長が大変狭い。高畑から小学校児童並に保育所の幼児がこれを通っているがこれを公民館に通じる普通の町道として新設整備する考えはないか。

助役　これは考えている。

高畑川の河川改修が進められているが、これには相当な事業費がついている、その中で橋を見ていたさこうということで、県の方ではすでに設計をしてあげている。橋と考え合せて、児童、幼児並に地区公民館への利用道路として改良してゆきたいと思う。

議長　町道の問題は外にたくさんある。関連するものも多いと考えるので、先ず道路の問題から進めたいと思う。

和田議員　上米線であるが、ある一部分だけ前年度に執行されているが、町は本年度も更に執行される意志があるのか。舗装についてはどんな計画であるか伺いたい。

土木課長　体育館前から上米に通ずる三股駅上米線は四一年度駅前から体育館前まで改良して上米の煙草屋附近も一部した。残りについては久松医院前通り線と交叉する十字路まで、駅前広場も含め四二年度完成ということになっている。舗装については四三年度完了ということになっている。

和田議員　よく分った補償費等もあると聞いている。

福永議員　町道整備にあたって砂利が非常に減少していると聞くが、その現状を説明願いたい。

土木課長　ご指摘のとおりで私どもが一番頭をなやましているのは補修用の砂利である。特に本年度のでできるならば本年早速執行していただければ非常に環境も整備されるものと思う。

和田議員　楪田、宮村に至る県道の排水溝については、前から お願いしているが、今年は干害のため側溝の水の流れもなかったが、ついこの前の雨をともなった雨の時には側溝の倍近くの水が流れた。県道舗装で側溝がないところもあって住宅地内に流れて不平不満の声が高まっている。約一五〇米ぐらいであるが、これを早急にやる意志があるかどうか伺いたい。

土木課長　今町三股停車場線の楪田、大鷲巣間の側溝約一五〇米はたゞ今単事業として県の方に申請している。県単事業においては早急にというわけにはいかないと思う。二、三日前にも土木事務所長と逢って、とくと事情を申し上げておいたので県の方では採択していただけるものと確信している。

より一級河川、普通河川を問わず河川の砂利採取は一切禁止するという強い通達が出されているので、県、町、民間すべてにこれは適用されるが、道路は整備しなくてはならない、取る砂利はない高畑にある清水砕石の岩くずを立米当り一〇〇円で購入して敷砂利に使用している。敷砂利の確保で町民に迷惑がいかないように方策を講じている。

福永議員　私の見るところでは、交通量に対して狭すぎる道路、或いは角切りの必要な個所も見受けられるがこれらの今後の対策はどうか。

土木課長　昭和三六年に角切りの問題をとりあげて四〇個所を実施した。その後交通量の増大と共に各所にたゞ今お話しのような危険個所が出てきている。それで春の交通安全週間の時派出所の巡査部長とともに充分調査した結果、問題のあるところも多い。角一ぱいに家を建てゝいるところとか或いはブロック壁がある とか、その他既設の構造物等いろいろあるので、これらについて関係者と充分協議して早目に実施したいと考えている。尚県道については、県の方に倒所を申し上げ、土木事務所長と話し合いをもって県の方でも取り上げている。

福元議員　以前都市計画税を設置するおりに町長は都市計画の区域外の町道の整備も区域内と大体において公平な整備をしていくとい答弁があり、都市計画税の設置はスムーズにいった。その後中央に比してへん地の整備はなかなか進んでいない。これらの町道が悪いということは非常に生産性に影響がある。各議員は地元の道路を整備したいという気持は充分ある。町が計画して町全体が同じような程度に整備される方向に進む方が良いと考える。町としては熱意のある部落ということをよく聞くが、その熱意とは何をさすのか。部落によってはその熱意が表面に出るところもあれば、辛ぼうしているところもある。町当局が全町をつぶさに調査検討して実利のある、効果のある整備を お願いしたい。これに対する考えはどうか。或いはそんな風に実施しているのかどうかお聞きしたい。次に安田議員の質問にもあったように宮村並木線は町内で一番悪い道路である。助役は牛之峠線との関連があるので、云々と答弁されたが、その問題の対策は別としてそれまでの当分の間の道路が悪いということは、地元では非常に不便を感じ補修を実施してゆく方向にもっていっていただきたい。都市計画に入ると言われるが、それまでの間非常に悪い危険状態にあるので補修を徹底的にやってもらいたい。道路を水が流れているような状態である。ご検討を願いたい。

助役　都市計画税を創設した折に計画区域は全町であるが事業区域と区域外との均衡を考えるといったのはそのとおりである。したがって町としては都市計画の線については相当な補助がついているわけで、そうでないいわゆる辺地の道路については主として失対事業を向けるということで今までやってきた。ご指摘の路線は残っているが、都市計画と同じような整備の進ちょくはなか〳〵困難である。期間がかゝると思う。年次計画をたてゝ逐次整備してゆこうという方針で、ご指摘の熱意の有無にかゝわらず実施してゆく方針に変りはない。並木線は都城市より堀型に本町に通ずる強つの路線のうちで最も悪いのは お説のとおりである。その原因は全路線路盤の軟弱と排水がよくないということである。先程安田議員の質問には私は抜本的な改良の方法を と申し上げたが補修については当然危険のないよう考えていきたい。

小牧参事　中央部とその周辺の道路において格差があるというご説ですが、そのとおりであると思う当初都市計画事業の方針どおり現在も進んでいる今年は二五線、六、〇〇〇米を計画しており、そのほとんどが中央部からはなれたところの改良舗装に重点をおいている。都市計画の区域の問題についても将来拡大した都市計画事業としての調査を実施してゆきたい。更に住民の協力の度合いについてはむつかしい問題であり一口に申すならば用地の確保が出来るか出来ないかにあると思う。つぶれ地の問題で計画がちょくはなかゝ困難なる場合もある。このへんのところが協力の表現であると思う。最近は道路整備について町民の認識も高まりましたので今後は皆様方のご趣旨にそって失対事業を活潑化してゆきたい。

上原議員　本年の当初議会における町長の施政方針の中に特に道路と住宅建設は重点施策としてあげられている。その道路の問題が予算面にどう現れているか、その比重がどうなっているか、重点施策と予算面とかけはなれているのではないかと思うがどうか。次に道路が一ぺんに良くなるということはだれも出来ないことであるが、しかし融和と協調を強力に推進されて町政を執行するにおいて、その結果はおのづから公平なる道路行政となって現れてくるべきである。ところが町内をよく廻って見ればよく分ると思うが、非常によく出来ているところ、出来ていないところがある特に中米から谷に通ずる道路は主要道路でありながらようやく拡巾したにすぎない現状である。三股町の道路状況を見ますとき都城から入ってくる場合並木道路はなんと悪い道路かゝしたものである。又一方夢池線、植木線を見ると立派なものであるといわれる。これを考えるとき三股の道路行政は公平でない面があるのではないかと思う。これを平均してやってもらいたい舗装がどうしても出来ないようであれば、せめて路面の整備をお願いしたい。

助役　道路も町道、県道、国道とあるが、国道は、国道整備五ケ年計画にそって大巾な改良舗装が行われている。したがって国道一〇号線などは、宮崎、鹿児島間未舗装の個所はないといった早い速度で進んでいる。県道においても地方主要道である坂元線においては県道の中でも非常に大型な予算を注入して改良舗装が行われている。したがって植木地区は大変良いというわけである。蒲池地区は国道であるから進んでいるわけである。一方並木線はご指摘のとおり悪い。先程もご答弁したように抜本的な考え方で、実は県の認定は受けていませんがそのようにしたいと考えている。地域的な均衡でですが稗山、宮村方面は、県道はわずかに三股駅今町線が一本ですが これは残された部分を本年度全面的に舗装していたゞくよう陳情して予算もついている。その他は町道である関係で御指摘の均衡問題が出ているわけですが、これは失業対策事業に織りこむなり或いはその他の改良舗装を

なしてゆこうと計画を立てようという現状である

小牧参事 施政方針に対して予算の割合がどうかということであるが、本町の総予算が三億六千九百万円であり土木費が一億五百万円である。この中には公営住宅も含んでいるので実質的な道路費は六千万円であるので一四%ということになる。その他国、県の公共事業が一億五千五百万ついている。この外に現在陳情している県単事業等あるますので二億をあまる土木事業費にならうと思う。そういうことから町政の方向としては道路ということが打ち出されたのである。

上原議員 了解した。町道整備は町政伸展のバロメーターである。部落道路は町内均等な改良をお願いしたい。町内をつぶさに調査して町内均等に文化に浴するような方向に進んでいただきたい。

茨木議員 梶山上之馬場の道路がバスも通りにくく一旦停車して通るような個所もある。田上、切寄両部落の児童も梶山小学校にこの道路を通っている。交通量の相当多い道路であるが、これの簡易舗装についてどう考えるか、伺いたい。

土木課長 梶山上の通線のカーブの個所は前から問題になっているが、今消防水槽をあそこに予定しその位置もすでに決定し水槽が出来次第、カーブも整備したい。第二点の舗装については先にも申し上げたように八月に交通量の調査を実施して、それにもとづいて舗装の計画を立てたい。

茨木議員 切寄部落内道路であるが、同じ梶山でも下之馬場は数年前に立派に舗装されているのに切寄の部落は長い間放置されていることに部落民は了解しかねている。予算なり計画なりいろいろあろうかと思うが、これについての見通し計画をお尋ねする。

土木課長 都城北郷線は長年改良を実施しているがはいかんと思う。県が考えているのは御崎神社附近まで計画を持っているようである。その後の問題については梶山地区内の改良は郡市計画改良設計を変更してもってゆくか、或いは又都城北郷線の改良を延長していたもあって、これをどういうことで土木事務所と接渉中である。

馬渡議員 長原平山仮屋線それに平山ひのくま線は実質は農道で名目は町道である。両線とも非常に重要な路線である。平山長春仮屋線は先に都城北郷線とともに改良する計画をもって既に測量も終れている。更に平山長原線とバス停終点内之木場を結ぶ線は主要町道で町内之木場大野線と西の植木今市線を要望されていたわけであるが西の植木今市線は数年前に立派に完了しているが東の平山内之木場線は今だに小さい車も通らない急な坂道である。これの改良については町はいかなる考えをもっておられるか。

助役 仮屋長原線は先に都城北郷線の橋梁改築に伴って迂回道路として計画をしたことがあったことはたゞ今ご指摘のとおりである。その後町ではどういう方法でやるか検討している。時期的に考えて秋の刈入れ後には、もう一回これを検討したいと考えている。できれば補助事業か県単事業でもってゆくように検討したい。それから平山線はご承知のように地形の問題もあって、これをどういう方法で実施した方がよかろうかと検討をはじめておりますが、未だ実施の段階に至っていない。

小団地の基盤整備に努力を

馬渡議員 農業施設整備について、質問する。本町は昭和三八年以来農業構造改善事業をもって農業基盤の整備を実施してきている。本町の農業基盤の整備は早くから上原翁の如き先賢の事業によって郡内で優秀なことは事実である。

更に加えて町長の識見によって今種の南九州防災営農事業その他災害復旧事業、県単団体営事業を取り入れて真剣に取り組んでいただき地元の智慧を拝借して検討したい。

馬渡議員 先に中央に厚くへん地に薄いといった意見もあったが、どうか両路線とも真剣に取り組んでいただき根本的な改良を願いたい。

岩崎議員 町営住宅塚原団地の下を通って三島に通ずる道路を改良しようということで話し合いも出来ておるがこれの改良がおくれているが、計画はどうか。

土木課長 これは予算にも計上して計画をもっている。時期的に田植後に実施したい。

馬渡議員 農業施設の改良に限り総合した事業を対象として起債をなし町が債務負担をしてこれらを解決する方法があると考える。が政治の谷間と申しますかこれらへん地の体質改善にどういう考えか伺いたい。

助役 農業構造改善事業の第一次はすでに終り、その後残された区域の第二次農業構造改善事業の基盤整備を実施しようと話し合いをなしたことがある。しかし残念ながら地元のご理解を得ることが出来ず実施出来なかった。したがったご指摘の個所が残っているわけである。ただ今馬渡議員のアイデアーとして、小団地で必要な個所を一緒にして事業を実施し、これの事業費は町債をおこしたらどうかということのようである。先に小災害のあった時の処置と同じようなことであるがこれはアイデアーとしていいことであると思う。充分検討する必要があるので早速事務当局の方に研究させたい。

馬渡議員 農業の曲り角にきた時点、受益者の少い小面積の生産基盤の整備については非常に悩みのたねであるので今後の努力をお願いしたい。

町、県外就職者にあたたかい手を

茨木議員 町長は町の発展は人づくりからと教育に熱意をもっておられるが現在三殷町は町外、県外に就職してゆく卒業生が非常に多い。こういう就職者は町の後援を力強く思うのであるが町長はいかなる考えをお持ちか。

町長 一般的には教育の機会均等ということが大事であると考え、そのように努力する。

茨木議員 県外に出ているものは古里をなつかしく思い出すものである。これらと連絡のきずなをとりつつゆくならば、これが町の発展にもつながることになるのではないか

上原議員 県外就職者の連絡指導として中学校の就職関係の担任の方々や雇用者の方々と一緒に会合をもたれた事があるがその後この線が細くなってこんにちに至っているようである。当時は就職難の時代であのような会ももたれたものと思うが、こんにちのように楽に就職出来る時には、それが忘れられている。就職している者は、かた時も古里を忘れることなく、古里の通信等によって更に仕事の励みも出てくる。永大産業を見ると三殷の子でないと永大産業はつとまらないというぐらいである。線の小さくなった会を旧にかえしていただきたい。町長のお考えを願う。

町長 充分検当して復活の方向で善処したいと思う

新馬場区画整理はどうなるか

久木山議員 新馬場の区画整理問題は三ヶ年以来のことであるが、たまたま本年一月、地区の道路委員の会合で、この問題がとり上げられ、再度区画整理の話し合いがなされたが部落内の調整が出来ない状態であった町当局でもこの問題をとり上げてもらったのであるがその後聞くところによると財政上の問題で取りやめになるとかのことである。この区画整理の問題を中心に部落内にいろいろな感情があって影響が大きいので、今後、ここで、これを実施するのかしないのか、町長の言明を明確に願いたい。これが今後の部落民の指導或いは意見統合の上によいのではないかと考える。

町長 現時点においてはなかなか実行困難であると思う。そこで計画の内容を変えてはなどといろいろ検討を加えてきたがまだその具体案が出ていない現状である。以前の計画では大体一億円だったが現在では四億円程度になろう。

久木山議員 まだ実施するかも知れないという線であるか。

町長 旧の計画では実施出来ない。そこで別な変った方法でやりたいというのが現在の方向である。

助役 ただ今の件であるが区画の変更である。道路の変更の問題で国、県とも大分接渉したが変更は建設省の要望にそって、計画を変更して実施しようと今まで接渉して来たが全然変更がきかない。先程町長が言ったように変り案を検討しつつある

久木山議員 区画整理はやらないと解釈してよいか

助役 そのとおり。

久木山議員 わかった。その方針で部落内の方向づけをしてゆきたい。この区画整理の問題のために新馬場地区の道路行政は非常な立ちおくれをきたしていることは当局も認めているものと思う。この区画整理でない道路整備計画には、あくまでもそういう気運は部落内に充分あると思うので今後他部落におとらない道路行政を進めていただきたい。

土木課長 ご指摘のとおり区画整理の問題により、道路改良が他部落よりおくれていることは事実である。今後のいき方としては部落の要望を取り入れて幹線道路の改良計画とともに部落内小道路の改良も他部落と同様な方針で先対事業と部落奉仕を併行して実施する計画である。

次善の方法をとりたい。

県骨材製造所の公害対策を眞剣に

安田議員 県の骨材製造所が出来てから清流であった寺柱川が現在非常にごり、池もつくれない。聞くところによると水田に流れこむと分けつも少い。場合によってはその分けつがとまるということである。これは昨年の七月からであるが昨年はそのデーターは出ていないがこの公害対策について経済課では考えたことがあるか伺いたい。

経済課長 ただ今の質問に類似した例がある。それは前日にある木場骨材でじんあいが流れて年々累積し川しもの水田に被害を与えたこれは補償ということで二応落ちついたことがある。寺柱の問題も現在の原石山の小量の土の流入れでは当分の間は問題ないと思うがこれが毎年累積してくるというい事の如き先賢の事業によって起債をなし町が債務負担をしてこれらを解決する方法があると考える

助役 原石山のふもとに川のつけ替え工事をやり、立派な護岸が出来ているこの在岸の方に沈澱池というか施設を造って現在そこに流入さしている。私が現場に行った時には川はにごっていなかったしかし夜いは最近の大雨で沈澱池をこえて濁水が流れたのではないか。ところで或る鶏農家の話によると現在の段階では、むしろ田圃に入った方がよろしいという話しも聞いた。別に心配していなかったがしかし今後累積してくると被害が出てくる。池も造れないという事になりますと県に厳重に接渉して検当していきたい。

安田議員 粘土が流れてきて水もちがよくなったとして作物に対する被害はまだあらわれていない。昨年は分けつがほぼ終った七月中旬以降に営業をはじめたので問題は今後にある。尚農作物ばかりでなく、ほこりが大変多く住民が非常に不便を感じている。これに対する対策も講じる必要がある建設当初は納得してつくったのであるが、川の水とになると相当な問題が出てくると思う。町はもっと関心をもって検当を願いたい。

安田議員 了解した。町当局に真剣に考えていただきたい。

福元議員 小鶴果の川上にも大信建設が砕石をやっている。砂利を洗った濁水を県の砕石場より以上を流している。にごりは非常に微粉であるが故に安田議員の言われるように稲の分けつをさまたげるということを聞いているが甚だしくは飼料の浸食もあると言うし、部落内は水道ぼかりでなく、井戸からとる水道もあって井戸水がにごるということで困っつている。公害対策も真剣に考えてもらいたい。尚先程出た並木線の大鶴果部落は砂利搬出のトラックが頻繁に往来するので座敷の中まで砂塵が入ってくる。できるだけ方策を講じていただきたい。

土木課長 この問題は県企業局と打合せをしている県においては六月から七月までの田植時期にはできるだけ砕石をやらないという返事であった。しかし田植え後一挙にしてもらって困る旨の申し入のにごる問題は一言もなかった。道路の問題については、町も県も考慮されているので問題は県内に一ケ所しかないので他と比較調査も出来ないしただ困ったという以外に、町当局も真剣に考えていただきたい。

町長 一般的には教育の機

れに対しては、充分検討するということであった。

尚　養魚も出来ない状態に対しては、その都度事務所に連絡していただきたいということであった。

更に道路については四二年度に部落内の改良を実施し、その後の舗装についても充分検討するとの回答を得ている。

福元議員　出来るだけの方法を講じていただきたい。

長田児童館の建設見とおしは

安田議員　国庫補助が決定したようであるが、長田地区の児童館、並びに宮村小学校のプールをお尋ねする。今後の見とおしはどうか。

福祉課長　長田地区の児童館はご承知のとおり八〇坪の四八〇万円である。内県費補助八〇万円が参っている。場所はまだ未定で設置場所を選定中である。

教育長　本年度本町のプール建設は宮村小学校を予定している。県からの連絡によると本年はプール建設の希望が多く認定を第一次第二次とすることにしている。第一次の認定には宮村小プールは入っていない。その後更に県に交渉した結果第二次認定には入れるという回答を得ている。

安田議員　福祉課長にお尋ねする。先の答弁で長田地区児童館の場所がまだ決まっていないということであるが、三月の委員会としてはすでに決定したということであったが、道路の問題がどうかということから、本日議会終了後地元議員と相談しようということになっている。

大盛議員　宮村　小学校プールに建設寄付金として五万円が計上されているが、この寄付金を徴収しなければプールは出来ないのかどうか。

助役　プール建設については一昨年に三股中を、昨年は見おくり、今後は年次的に建設したい計画でおる。三股中プール建設の場合には、一世帯当り五〇〇円として一〇〇〇戸で五〇万円の寄付を迎いで建設しております。今回の宮村小プールについては概ね兄世帯一〇〇戸が同じく五〇〇円の割でご負担をよろしくお願いするということで予算に計上したものである。聞くところによるとこの金はすでに預金されているということで、昨年から申し出を受けている。この金がなかったらでなく、すでに出来ておるからプールは造ることになる。

大盛議員　もうすでに預金されているということであるが、しかし義務教育費の父兄負担の軽減、解消が叫ばれているこんにも、その軽減に漸次努力すべき問題だと思う。

馬渡議員　先程長田地区児童館についての安田議員の質問に対して当局の答弁と関連して地元議員としてそこの実状をお話ししておく。土地は地元で購入済みであるが場所が長田小学校の下であって、最初運動場を通ってもよかろうということで選定したが申請をするにおいて道路に接していないと具合が悪いということで進んでいない状況である。別な土地と交換するなり或いは道路を新設するなり、いづれにしても町当局、地元が一緒になって解決したい。以上実状を申し上げておきます。

たばこ耕作の集団化をはかれ

安田議員　葉たばこの連作はいけないということであるが他の作物との関係もあり今集団化が叫ばれている。地方によっては水田の一部を集団化栽培しているところもある。本町においても集団化を計画する時期であり、本町のたばこ収入の約六〇％を産出する桃山地区を対象にした水田への集団栽培を行う場合に水稲の共同苗代、集団苗代が実施されなければ、これがすべき問題だと思う。

馬渡議員　先程長田地区児童館についての安田議員の質問に対して当局の答弁と関連して地元議員としてそこの実状をお話ししておく。土地は地元で購入済みであるが場所が長田小学校の下であって、最初運動場を通ってもよかろうということで選定したが申請をするにおいて道路に接していないと具合が悪いということで進んでいない状況である。別な土地と交換するなり或いは道路を新設するなり、いづれにしても町当局、地元が一緒になって解決したい。以上実状を申し上げておきます。

経済課長　基本として集団化を奨めている。桃山地区においても一部ではあるが集団苗代を実施して共同田植えをしている新馬場地区の集団田植えと併行して各地区の集団苗代までもっていきたい本年は特に干害のためにもある。たばこにおいても集団化しようということは考える問題である。と内々話していた。水稲の集団栽培はたばこ耕作の集団化のためというのではなく水稲の増収面からも是非進めていきたい

上原議員　経済課長の説明があったが町はもう少し積極的に連作関係から集団化へもっていくといった考え方で基本的に計画をたてて方がよいと思うが、これに対する考え方を願いたい。

経済課長　現在の営農推進にはどうしても生産組織を確立してすべてを重点的にもっていきたいと考えている。したがって各分野において組織をつくっていきたいと考えている。そこで現在のところ手始めとして水稲、酪農をすすめているところである。

上原議員　私はただ共同苗代、集団苗代ではこの問題は解決できないと思う連作の問題を樹立しておいてその上に共同苗代なり集団苗代にもっていってそしてたばこ耕作の連作回避にもっていったらどうかという基本的な計画をたてて欲しい。

稲作について

石坂議員　経済課長に伺いたい。水稲集団田植えであるが、四二年度の引受反別及びその植付状況はどうか。

経済課長　先ず勝岡集団が関係戸数一三一戸、面積二七町九反三畝で新馬場集団が関係戸数一四九戸三五町七反八畝、山王原集団が戸数四八戸、一一町六反六畝で合計三二八戸、七五町三反七畝である。この外に桃山の共同作業班が二三戸で一三町歩、外に前目は苗代だけであるが一八戸で九町三反歩を推進してきている田植え状況は勝岡集団が一三日から二〇日までに新馬場集団が一八日から、三〇日まで、山王原集団が一三日から二五日までである。水不足で田植え期間が幾分長くなっているが、しかし集団栽培であったがために水利を重点的に利用したこれだけの面積をさばいて、特に勝岡集団においては、一三日から二〇日まで全部完了した。

石坂議員　了解した。次に水稲の空中防除は本年度も実施する計画か、お尋ねする。

経済課長　本年度も実施する。

石坂議員　昨年は散布するうちに雨が降ったことを記憶している。当局の都合もあると思うが、本年は天候関係をよく検討されて実施されるよう要望する。

経済課長　充分注意して行なう。

山内議員　稲作の振興が叫ばれているが品種の更新は考えていないか。

経済課長　稲の品種は本町内には大体三五種以上が入っているようである。

このように品種が混合し

ているということは、生産される米の品質にもよく表われており、なんとかこれを統一できないものかと考えている。水稲もここ一〇年間程新品種が普及されては立ち消えというくあいに非常に寿命が短い。しかし昔からの農林一八号、ズイホが依然としてこの地区の王座を占めて残っている。九州管内いづれもであるが、本年度から佐賀の稲作方式がとりあげられている。本町は長崎のタチカワ種という短稈種を取り入れて、その増収対策をはかっている。何しろはじめての品種であるので、地域的には問題も出るのではないかと心配し導入については、先ず地沃のよいところということを農家に知らしめてから、品種の注文をとった私共としては酪農地区では早稲か中稲を導入してその後作に飼料作を導入して行く、又早期水稲の後作に馬鈴薯又は飼料作を導入していくことを考えている。現在のところはタチカワ以外の更新は考えていない。

佐沢(行)議員　集団栽培による反当経費はどのくらいか。

経済課長　四二年度の経費については本町の場合は

まだ精算していないが、四一年度の精算では苗代から田植えまで四、五〇〇円から四、七五〇円の線だったと記憶している。

佐沢(行)議員　集団栽培はなかなか評判がよい。昨年の経費を見ると経費も安いが、今後これを拡大してゆく計画があるか伺いたい。

経済課長　拡大をはかりつつある勝岡集団の続きの前目と桃山地区の組織を出した集団化、更には梶山の石寺地区にも昨年からうって実現はできなかったが今後も更に進めていきたい。

馬渡議員　昨年生産補助金として本町にもきたが、これの使途については、よく検討されて、増産の第一は防除にありと防除器具の購入に町と農協で努力されているところであるが、これの進捗状況をお尋ねしたい。

経済課長　稲作改善特別事業費としての一六〇万三千円これの使途について は前の議会において承認をいただいたように、防除器具の購入のため農協を通して注文をしている尚防除組織であるが町の防除協議会の本部のもとに各地区に防除支部をつくり、先般その各支部協議会の会長会を開き空中防除の実施決定、残る地上防除を実施する地区は報告するよう通知してある。

馬渡議員　郡内各町村とも増産対策費の使途については防除器具の購入にあてているようであり、したがって防除器具の注文が殺到するものと考えられるので本町も時期を失しないように農協とよく連けいして入手できるように願いたい。

大盛議員　ただ今の増産対策費による防除器具購入について台数等具体的に説明願いたい。次に先の集団栽培の経費反当四、五〇〇円の内容についてもお願いする。

経済課長　防除器具の購入台数は六〇台である。大体三日間ぐらいの短期間に済ませる考えである。購入については農協に注文、各町村と連絡し一括購入するので割安になると思う。馬渡議員の質問にあった入手については心配ないと思う。次に集団栽培の経費の明細については後で報告する。

学校給食について

石坂議員　給食費が値上りしたように新聞などで見受けるが、本町の場合はどうなっているか。一応体的に説明願いたい。

給食センター所長　本町は昨年五月から共同購入による完全給食を実施しているが、四一年度の給食費は五月から一〇回払いで月小学校の場合は六〇〇円、中学校は七〇〇円をゴ収取しておる。ご承知のとおり牛乳、小麦粉の値上り等によって三月から値上りするという報告を受けて、いろいろ理事会において検討した。計算するとどうしても一食当り二円五〇銭程度の値上りが必要となってきた。月に換算すると五〇円値上りして小学校が六五〇円に、中学校が七五〇円になり、これを一一回に徴収することによって大体経費がまかなわれるという計算になる。この価格は県の標準までにはいかないが、それに近いものであろう、県の平均価格になっているようである。高いところになると小学校七〇〇円、中学校八〇〇円のところもある。政府が示している脱脂粉乳を給食としているところは若干値が安い。

大盛議員　給食費は小学生一人当り三五円七五銭、中学生四一円二五銭で、この内訳は小学生の場合でパン及び牛乳が一六円五〇銭、副食費が一六円七五銭、そして運営管理費として一円九四銭、その他五六銭となっているが、その運営管理費であるが給食費の中から給食センターの運営管理までまかなうため、結果的には、児童給食の標準カロリーの不足となって現われてきている。給食センターについては財政から年間一八〇万円程度の助成があるものと思うがいわゆる文教の町をかかげる町として児童の健康保持、体力向上の点から見ても運営管理費は当然町が負担すべきものであろうと考えるが、これについていかなる考えかお聞きしたい。

助役　給食費の中で管理費をまかなっている。だからカロリーが少し落ちはしないか、管理費は町の一般会計でまかなうべきではないかという質問であると考える。ところで基本的には給食の本来は学校教育の一環といいながら実際には父兄がなすべき問題であるが、或いは地方公共団体がやるべきかということになるようなこともあるようである。これは別として本町としては給食センター建設以来の人件費ですが、これは町の賃員として町で支出している。大盛議員が調査されてその割合、管理費のこと等、ご承知のようであるが、町としてはその管理費だけではとても給食センター！の運営は出来ない。燃料費、その他の経費も相当必要であるのでこれは一応その中で管理をしていくという状況である。これは結局は大盛議員が主張される負担軽減という事がこの管理費の件だったと思う。これは学校給食理事会においても理事である各小学校の学校管理者からもそういう要望は受けている。したがって順次そのような方向で今後はやってゆきたいと思う。

大盛議員　学校給食用の牛乳については学校の職員、生徒から脂肪率が低下しているのではないかと耳にするが、これを調査されたことがあるか、或いは調査される計画があるか、お伺いしたい。

給食センター所長　この件については、先般市郡学校長会との連絡協議会において県の保健衛生課が参った折にこの件有課が取り上げられて、ただ今ご指摘のとおり、市販に比して薄いのではないかと質問し、又検査についても要望したが、検査については検査のようにするとの段階でなく学校単位でよく検討してくれという程度の答弁であった。私共としては都城の雪印から購入しているので雪印の検査室に行って、この点について質して見たところでは、会社側としては厚生省の規格に合っているということであります。それで私共は県の工業試験場に依頼して内容を検討しても

らうということで近く県に調査をお願いしたいと思う。その結果については後日報告する。

大盛議員　調査を早急にお願いしておく。

上原議員　給食センターが出来て給食開始後の児童の体位向上がどのように表われているか、調査結果が出ていればお願いしたい。

教育長　学年はじめに体位調査を実施しているので集計結果がやがて出てくると思うのでその時にお知らせしたい。

住宅団地について

和田議員　町営住宅の建設予定地であるが、住宅は重点施策として一〇〇戸の計画のようであるが、建設予定地としては集団化されるのかどうか伺いたい。

商工開発課長　四二年度の公営住宅の建設は当初一〇〇戸を県を通じ建設省に申請した。内定しているのは八〇戸である。団地の設定であるが現在申請しているのは塚原第二団地に三四戸、餅原に八戸、勝岡に二〇戸、蓼池に一八戸、計八〇戸である。塚原第二団地は本年度で完了する。尚団地設定の条件等について説明すると、土地の価格の問題が第一である。それからその土地の買収が可能であるかどうか、その次ぎに入居者がいるかどうか、この三つが必要条件であろうと思う。中央においては土地が高とうし、買えない状況であるしたがって安い土地を求めて分散する。結局集中的に買えないという状況下にあるから中央部からだんだん遠のいたところに団地は移動してゆくのではないかと思う。

和田議員　ただ今分散という説明があったが、山新地区には先生も多いが桃山地区には居ない。先生の住宅でも造って居てもらったら子供の教育上大変良いのではないかと思うが、できるなら樺山区にも住宅を造っていただきたい。

山元議員　健康文化都市宣言の中に子供の遊園地の件があげられ、人づくり郷土づくりの意欲をかかげ積極的にその実現がはかられている。塚原団地の遊具設置の件であるがここはご承知のとおり鉄道沿線であって子供が機度か列車を止めている事例がある。更に東原団地であるが、ここには空地もあり昨年陳情した例もある。これらに遊具設置の計画があるかどうか。塚原団地はこれによって鉄道による危険防止に役立つと考える。

助役　塚原団地であるが、住民の入居者の方々からいろんな要望がある。要望にはなるべくそうようにしているが、反面入居者自体ももう少し目覚していたゞきたい。例へば山元議員の言われた鉄道線路の問題であるが、線路の東、団地間にプールを造ることになっているが現在空地になっているそこで遊ぶ子供がよく線路に上っていたずらをするこれに対しては入居者が子供の監視を厳にしていたゞきたいということである。近く線路わき約一〇〇米金鋼も張るようにしている。

遊具については町社会福祉協議会の方で児童福祉の面で予算をもっておるのでそのように図りたい

商工開発課長　三〇戸以上の団地には緑地帯或いは子供の遊び場としての敷地をとっている。ところが遊具の予算は保有していない。今助役から話しがあったように社協におお願いして一団地に一つぐらいづつでも作っていきたい。それから榎堀団地の空地であるが、これは一応緑地帯として県に申請してある。当初の考えではこの附近に五〇〇戸以上の住宅建設を予想していたので、その団地間の連絡、集合場所がほしくなるということで一応空地をもったわけであるこれを整地して子供の遊園地に充てたい。遊具については、それ以上の住宅の施設の面が多分に残っているので先ずこれを優先的に考え、遊具は社協と連絡を密にして解決してゆきたい。

山元議員　了解した。すみやかに設置方をお願いする次に住宅の維持管理についてお尋ねする。住宅建設は町内の経済力を高め社会開発、産業振興の上に効果をもたらすものである。現在約四〇〇戸の住宅を保有しているがこれの補修については、完全に実施されていない町においては維持管理の万全にどう計画があるか伺いたい。

商工開発課長　現在の人員では、パトロールまでは出来ないので、各団地に責任者をつくり、居住者はその責任者に問題をもってゆき、その代表者が一括して町に交渉する方法を考えている。塚原団地はすでに補修を終ったところが居住者の中には代表者と連絡をとらず、一応修理が終ってから更に申し込んでくる状態でこれでは約四〇〇戸の住宅の管理はなか〳〵大変である。居住者もこの点は考えていたゞきたい。

岩崎議員　かねてより強く要望しているが、住宅を含めて中央地区は塵埃の処理施設がなかなか整備されない。現在住宅の塵埃についてどのような指導をされているか。

商工開発課長　本町は公営住宅の建設が都市計画に先行して団地が構成された関係で、下水の末端処理、汚物の処理方法、これがおくられている。そこで公営住宅だけでこれを解決することはなかなか難事である。先の議会にもこの汚物焼却の問題が出たが集中的な汚物処理場をつくるということで団地内の焼却ろは見送られた。しかし未だこの集中汚物処理場は出来ていない。したがって汚物処理については、団地の空地に穴を堀って自主的にこれを処理してもらっている。尚　排水の末端処理については都市計画と合わせ善処しなくてはならないと考える。

岩崎議員　本年度八〇戸の建設がなされると四四六戸の多くを数えることになる。塵埃の処理場及び下水溝の整備についてはもっと真剣に取り組んで早急な処置を講じてもらいたい。

福元議員　本年度建設の住宅計画について説明があったが、この数において幾分かの融通性があるかないか。

馬渡議員　本年度住宅建設八〇戸については勝岡、餅原、蓼池に半数以上の四〇数戸が建設されるがこの地域には短大、工場誘致等予期された住宅建設と思うが、しかしそれにしても四〇数戸の住宅を単年度で建設することは入居者の点でいさゝか危ぐをいだくが、このへんの見透しはどうか。

助役　建設省に対しては建設予定地の図面も含めて申請をしております。したがって土地の買収済みないしは買収可能の関係のことから、先程開発課長が説明したような配置によって出している。そこで福元議員の融通性はどうかについては、事務的に多少の困難性はあるけれども先程の条件に合えば融通はつくと思う。それから馬渡議員の質問については、実は融通性のことを申し上げたわけである。餅原は駅の東に蓼池地区は駐在所の西にすでに入手している。

福元議員　了解した。宮村地区からも現在強い要望があるので実現方をお願いする。

馬渡議員　入居者の心配はないのかどうかはっきりしないが、その点をもう一回願う。

助役　餅原地区については地元の強い要望もあってすでに入居予定者が決定のようである。更に蓼池については、今の状態でも入居希望者がいないということはないと思うが学校の問題、工場の問題等考え合せてのことである。

商工開発課長　福元議員の分散について助役の答弁の件であるが、用地が分ったなら早急にお知らせ願いたい。

福元議員　こゝ一両日中には調査検討して連絡する。